

入場
無料

第21回

託児室
あります

山鹿じんけん フェスティバル

12.6 土 山鹿市民交流センター

基調講演

演題「障害者芸術でつながるまちづくり
～今ここでひと輝く～」

講師 愛隣館総合施設長 三浦 貴子さん

パネルディスカッション

ファシリテーター

・愛隣館 総合施設長 三浦 貴子さん

パネリスト

- ・アール・ブリュット作家 松本 寛庸さん
アール・ブリュット パートナース熊本事務局次長
納富 久さん
- ・積水ハウス（株）九州南シャームゾン支店
濱崎 さくらさん
- ・山鹿市文化観光推進協議会 副会長 吉丸 洋さん
山鹿市文化観光推進協議会 事務局 前田 昌宏さん

タイムスケジュール

●全体会【文化ホール】

受付開始/9:00

開 会/10:00

表 彰/10:05

(男女共同参画フォトコンテスト入賞者)

基調講演/10:20

パネルディスカッション

/10:50

全体会閉会/12:00

※時間が前後する場合があります。

●体験型・展示ブース

【ロビー・ホワイエ・中会議室】

受付開始/9:00

受付終了/12:30

用語解説

アール・ブリュット (Art Brut) とは

「生の芸術」を意味するフランス語で、美術教育を受けていない人が衝動のままに表現した芸術とされますが、私たちは「熊本が育んだ魂の表現」というキャッチフレーズを用いています。(アール・ブリュット パートナース熊本から引用) 年齢も性別も経歴も障害もさまざまな作家たちの作品をぜひ一度ご鑑賞ください。今回は山鹿市内の作家を中心に展示しています。



松本寛庸さん作

「松花江マンモス アフリカゾウ」

講師コメント

愛隣館総合施設長 三浦 貴子 さん

たかこ

12年前に県内で障害のある人々らの芸術活動支援団体を立ち上げ、美術館や学校・企業などと連携して支える取り組みを基調に、山鹿の共に生きるまちづくりを講義とパネルディスカッションで深めてまいります。

また、「アール・ブリュット（生の芸術）」を通じて、障害のある人々らの才能や個性を社会に発信する取り組みを軸に、「人権尊重」を貫くことが、地域の魅力向上につながる可能性をお伝えします。

そして、多様性を活かした「共生のまちづくり」について、作家、企業等関係者と共に語っていただきます。

体験型・展示ブースが盛りだくさん！

男女共同参画フォトコンテスト

（表彰式は文化ホールで10：00～実施）

年齢や性別などにとらわれず、誰もが家庭や地域、職場で自分らしく個性や能力を発揮できるようにするためフォトコンテスト作品を展示しています。

令和6年度最優秀作品



アール・ブリュット作品展示 木工作品展示・人権作品展示

地域の皆様や子どもたちが心を込めて制作した力作が一堂に揃い、観る人々に感動と新たな発見をお届けします。作品一つひとつに込められた思いを感じてください。

車いす体験 ブラインド体験 妊婦体験



体験型ブースで、車いす・ブラインド・妊婦体験ができます！

体験を通してさまざまな人の思いに触れてみませんか？

バザー出店

「もくせい学園」と「味土里工房」の手作りの品や軽食が並びます。心温まる商品とともに、素敵なひとときをお楽しみください！

過去のバザーの様子



会場周辺駐車場案内図



※当日は駐車場の混雑が予想されますので、時間に余裕をもってご来場ください。

【お問合せ】

山鹿市役所人権啓発課

☎ 0968-43-1199

※当日は、上記の駐車場()をご利用ください。